

第15回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 2000年3月10日（金）10：30～11：00

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 藤家委員長代理、依田委員、遠藤委員、木元委員

（事務局等）科学技術庁

原子力局

興局長

中澤審議官

原子力調査室 板倉、池亀、鯉淵、鈴木

廃棄物政策課 青山課長、石崎、中村

通商産業省

資源エネルギー庁

原子力産業課 安井原子力産業企画官、黒木

原子力発電課 國吉新型炉開発企画官、中村

吉舗専門委員

4. 議 題

（1）「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律案」について

（2）原子力政策円卓会議モデレーターからの提言を受けて

（3）その他

5. 配布資料

資料1 特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律案の骨子

配付資料「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」の制定について（案）

資料2 原子力政策円卓会議モデレーターからの提言を受けて（案）

資料3-1 第13回原子力委員会臨時会議議事録（案）

資料3-2 第14回原子力委員会定例会議議事録（案）

6. 審議事項

（1）「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律案」について

標記の件について、通商産業省より法案の検討の進捗状況等について説明があった後、事務局より配付資料に基づき委員会決定案について読み上げがあった。これに対し、

本法案は放射性廃棄物処分の出発点であり、今後とも努力していかなければならない。

等の質疑応答及び委員の意見があり、審議の結果、本件については案通り決定した。

(2) 原子力政策円卓会議モデレーターからの提言を受けて

標記の件について、事務局より資料2が読み上げられた後、

モデレーターから提言のあった「原子力政策コミュニケーション会議(仮称)」を、案文に記載すべきではないか。

(事務局) イメージの固定化は避けたいとのモデレーターの意向を考慮すれば、記載しないのが適切ではないか。

「円卓会議の在り方」とした方が分かり易いのではないか。

3. について、提言の趣旨は国会内外での議論を求めたものであったという認識だが、案文の表現ではその趣旨が曖昧になるのではないか。

国会内で原子力についての議論がなされていないわけではなく、外部に情報として十分に流れていないのが実状ではないか。

昨年、有馬前委員長の際に、円卓会議モデレーターからの提言を頂き、これらを意見広告の形で4月の新聞紙上に掲載したが、今回も実施するのか。

(事務局) 媒体については検討の必要があるが、何らかの形で実施することを考えている。

等の質疑応答及び委員の意見があり、本件については引き続き審議することとなった。

(3) その他

通商産業省より、本日の閣議後記者会見において、通商産業大臣から、「本日の閣僚懇談会において、環境保全や効率化に対応しつつ、国民生活にとって不可欠なエネルギーの安定供給を実現するため、各種施策や長期エネルギー需給見通しについて、幅広く検討することとしたい旨申し上げ、事務局に指示をした。」との発表を行ったが、今後増設が見込まれる原子炉の基数等についての言及は無かったとの説明があった。

事務局作成の資料3-1 第13回原子力委員会臨時会議議事録(案)及び資料3-2 第14回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。